

歌文要禧

全

中村俊定文庫

文庫 18

1013

65

70

75

80

精藏  
書

あゝあゝから國ハ多岐路をうつりて

うきとらうそくしやまのくにハ

コトタニ言靈のしんまを國をばらばら

くつしあはれはつと今ハ多岐

中あともまはるはまはるまはる

る決むはまも家丈人ハ決するま

次二頁

中村俊定文庫

ちのいぬし後ろあつ先たまふとのいづ  
 るらちく歌文要訣のいふ是れは  
コトタニ  
 小云盡れたまけとも本は入変物をも  
 夕終とく極本にきつとく象と花とさ  
 人のいふせうも度先びと思ふのこり  
 てふ酒のき月むさ一燈は涼宇とるい

歌文要訣目録

アム 天の部に用ゑるは タケヒ  
後初葉 五二

○雲や霧の歌 二葉

○風雨の歌 後三葉  
玉四

ツチ 地の部に用ゑるは タケヒ  
四葉

○山は歌 五葉

○火水歌

後五葉  
五十六

○水の歌

和の歌  
橋の歌

後六葉  
五十八

○道路田地の歌

後八葉  
五十九

○季候時刻の歌

後九葉  
六十

○くた部に用ゝるゝば

後十葉  
六十二

○支體の歌

後十三葉  
六十五

○衣の歌

後十五葉  
六十六

○食メス ヌグヒの歌

後十七葉  
六十八

○家イハ井居の歌

後十八葉  
七十

○恙の歌

後二十二葉  
七十二

○意の部に用ゝるゝば

後二十二葉  
七十四

○掬汁部に用ゝるゝば

後二十四葉  
七十五

○此の部に用ゝべきは

後二十五巻  
五二十八

○此の本の歌

後二十八巻  
五三十一

○このはの品くさく

後三十一巻  
五四十五

カニホリケ  
メカヒ

○神佛の部に用ゝべきは

後四十五巻  
五四十六

附言

あやたらし

やはくれおきよめいそのかこあさせためしを  
 とはらふのまゝに今うかむ世乃しとをこのまじむ  
 うたぬるまそが中に今とせむいこう一はうは  
 りもいづいよのはおく止じもはうは  
 又まうくまひるまづうたのづからい一は  
 かきまもはらべしあに今ハ今のこをなぞ  
 けい一お正さんとりおおろそけし又いけ一  
 一のこまづし今のまはあましとりのまはこ  
 くらりまにい出せれしはりり今やうの  
 序分小用づとをまはらこそハやはくれが



古今類聚鈔  
和名類聚鈔  
伊勢物語  
大和物語  
古今集

古事記  
古語拾遺  
續日本紀  
延喜式  
源氏物語  
古今集

祝詞  
萬葉集  
催馬樂

拾遺  
催

續  
延喜式

和名  
和名類聚鈔  
竹取物語

伊  
伊勢物語  
源氏物語

大和  
大和物語  
源氏物語

古今  
古今集

土佐  
土佐日記

### 歌文要語

天の部に用へるは

朝日子アサヒコ 催ユラカゲ 夕影ユフカゲ 入イリ 日ヒ 影カゲ 陽ヒ 日ヒ 影カゲ

源源 歌歌 夕夕 日日

源源 月月

源源 月月



○旗雲 ハタクモ ○方 唐ざるし 井ルクモ ○居雲 井ルクモ ○方 勃々たるし ○伊

あはハ勃く ○登能雲入 トノクモリ ○方 多奈を入るもたむびき

○天雲乎富呂尔布美安多之鳴神毛 アノクモヲホロニフコアマタニナルカシモ ○方

富呂ハ御をい小妻 ホロニフコアマタニナルカシモ ○霹靂 カントゲ ○和名 加美止加 いうばら

は雨の歌

○東風 アユノカゼ ○方 城の依沢 トキツカゼ ○時風 トキツカゼ ○方 潮時 ミナトカゼ ○湊風 ミナトカゼ ○方

字表れ ○初秋風 ハツアキカゼ ○方 ○松はまよく吹おろし 源

○銀はかよるともほくに吹のがま 源 ○おれを

ははちがら 源 ○春雨之繼而降零者 源

○宇能花腐 ウノハナクサシ ○方 妻はるがらむらさき

○雨間 アメノマ ○方 雨 アメ ○小雨 コサメ ○方 ○安麻都美豆 アマツミヅ ○方 雨 アメ





クヌナシ ○万国  
内 ○他國  
○伊 ○日縦  
東西 ○日横

南北 ○方  
○影面  
○日の方  
○背面  
○丘墓

日障も  
山陽を云  
山陰を云

おろつ ○馬場  
○延喜  
ナヒフル ○地震  
○日

さきも ○源  
○さくらをさるん法

きくさむひも  
いかにがさるん法  
○源  
○月法

くろなぐさみ  
さきもさるん法  
くさるん法

ふたのえりぬに ○源

山の歌

アキヤマノシタヒ ○方  
舌日ハ飯ま下靴し地山  
ヤマノツカ ○山乃頭可

佐 ○方  
山のさき  
山乃可比  
○方  
山の岡を  
○大峽

コガヒ ○拾遺  
ヤマノソッキ ○方  
曾すハ底こそハ限  
山のさきそまがの曾す

ヤマノモトノ ○方  
スエツ ○末邊  
○方  
スソクワ ○須蘇廻  
○方  
ぬ ○師

付田居 ツクノタ井 ○方 去つくハ幕シ チハヤク ○千重山 チヘヤク ○方 百重山五百重山 百重山五百重山

○一隔山 ヒトハヤク ○方 山の名にわづら タチヤク ○多知夜麻 タチヤク ○方 誠中 ゆま山し

○尔比多夜麻 ニヒタヤク ○方 と毛の 新田山し

火はれ

○火燼 モエツヒ ○日 タビ ○方 たいまつし ○伊ついの山は炭と らふハ松の尾し今更焼

るくにあててきべし 挑燈なりども 火なるを物とくはい  
やうやうの物とくきべし ○源が火の赤い赤松とくきべし又  
紙漏とあふは今もき カビ ○蚊火 カビ ○方 麻をおと火 ノビ ○野火 ノビ  
ききくハ福をばれし オコモスミ ○日 オコモスミ ○日 ○方 燧炭 オコモスミ ○日  
をやく火

水はれ 水のはれ  
橋のはれ

○明之門 アカシノト ○方 明之門ハ海中に山兩あり向をり  
ほろ水と流すとる明之門にがざりび行くの

門と名づく 奥浪邊浪  
○方 一 佐多六  
磯中 佐多

○宇頭之保  
ウツツニホ ○方 磯  
ウナツツ ○古 宇多  
○海邊  
ウナバタ ○日 ○古

づ 海備も  
○宇良未  
ウラマ ○方 浦同し  
浦備も  
○青洲  
アヲフチ ○方 磯  
渡し

○岩垣洲  
イハカキ子 ○方 岩下  
比 剛し  
○許母利奴  
コモリヌ ○方 佐地  
の 浪し  
○清隅之  
キヨスミノ

池  
○方 地名にあり  
カハノ ○日 水 派  
○始水遊  
ミツハナシ ○方  
出

○宇須良婢  
ウスラヒ ○方 彦  
○水乎妣吉  
ミヲヒキ ○方 水  
○水  
ヒクシ

脈  
○延喜水  
ミツキ ○日 築大堤貯水名曰水城  
ハナナリ  
○波奈利  
ハナナリ

蘇  
○方 水瀬川  
ミナヘカハ ○方 瀬ハ 坂  
水 瀬川  
水 瀬川

川  
○鷓鷯川  
カハ ○方 川  
○垂水  
タリミ ○方 飛  
○石井  
イハ井 ○方 石  
の 流し

山  
○三沫  
ミナワ ○方 水 沫  
○真木流  
マキナガス ○方 材木  
○石橋  
イハハシ ○

まきの  
○打橋  
ウチハシ ○方 橋 打  
○橋柱つ先  
○催 橋  
ウチハシ

○池めい  
○主佐 池めい 池の  
ヤトとまがぶ



小船 アレワケヲフ子 ○方  
○蘆別小船  
○布那可射里 フナカガリ ○方  
○布奈与 フナヨ

曾比 ソヒ ○方 出帆  
○

道沿田地の記

○狭國 サクニ ○延喜 ヤシキ  
○峻國 スハドキリニ ○延喜山 ヤシキヤマ ○八十衢 ヤソノチマ ○方  
○河内 カウチ ○方 田圃 タノ 路乃長手 ミチノナガテ ○方  
○路乃 ミチノ

久麻尾 クマビ ○方 際 サヘ ○數十里 アミタサト ○日  
○田十町 メト、ユロ ○日  
○田庄 メトコロ ○日  
○田 メ

地 ○日 ○新墾 ニヒ、ハカリ ○方 ○日  
○打田 ウツタ ○方 耕 ウツタ ○方 鹿田禁 シ、メ、モル ○方 耘 ウツタ の

○獵路 カリヂ ○方 獵 シメノ ○方 標野 シメノ ○方 標野 シメノ とも今々禁割の場  
○標野 シメノ とも今々禁割の場

のた〜〜〜  
去ひりまし

季候時刻の記

○朝開 アサケ ○方 開ハ辰子卯辰シ○吉ニ キヅ ○方 昨日 ○方 ヨフベ ○方 昨夜 ○土佐

○乎得都日 ヲトツヒ ○方 一 アハトキ ○方 曉 ○阿加等 アカト

伎乃加波多例等伎 キノカハタレドキ ○方 かのたれハ辰ハ辰と云ふ辰はもて 曉の初したそくは辰辰と云ふ辰

○阿佐奈佐奈 アサナサナ ○方 欲和多之 ヨクメニ ○方 欲

○三更 ヨナカ ○方 夜半一 子ヒトツ ○伊 昔ハ一刻をニツに刻てはハツ

○閻夜 ヤミヨ ○方 晝波日乃久流 ヒルハヒノクル

留麻豆夜者夜之明流寸食 ルマドヨルハヨノアクルキハミ ○方 夜日 ○方 夜隱 ヨコモリ ○方

○年毎 トシノハ ○方 春者張乍焮者散落 ハルハハリツ、アキハチリオツ ○方 焮

○熱尔汗可伎奈氣 アツキニアセカキナゲ ○方 秋 アキ

風之立來時 カゼノタチルトキ ○方 焮附 アキツク ○方 焮の原色 ハキキキヨ ○波吉吉欲 ハキキキヨ

○守時鼓 トキモリノヅミ ○方 今此鼓 イマココノヅミ のを報し

ヒト タグヒ

人の部に用ふるべし

○東宮 ミコノミヤ ○日 ニチギミ ○大夫 オモトクシ ○侍醫 オモトクシ ○延喜 ニギハヤヒ

○學生 シナガハ ○日書 ニチカキ ○豪傑 イサオビト ○英俊 トキヒト ○入道 オコナヒ

人 ○大夫 オモトクシ ○弓雄 ユミヲ ○游士 ユキシ ○安豆麻乎能故 アヅマヲノコ

波乎等古 ハヲトコ ○倭人 ヤマト ○直人 ナヲヒト ○坐上 クラカミ ○難 ナニ

○防人 サキモリ ○新防人 ニヒサキモリ ○塊師 ヒトノカミ ○郡縣の之 クニノカミ

○從駕 ミトモ ○男丁 オボロ ○遣使 タシカヒ ○泥部 ハセツカヒ

○今良 イマナリ ○家子 イヘノコ ○步兵 フシ ○使者 タシカヒ

○奇 ウチイナシ ○馬軍 ウマツル ○延喜 ニギハヤヒ ○家 イヘ

○今良 イマナリ ○家子 イヘノコ ○步兵 フシ ○使者 タシカヒ

○奇 ウチイナシ ○馬軍 ウマツル ○延喜 ニギハヤヒ ○家 イヘ





○古那美

○古○大和

○前夫

○和名之

○太平

○妻

古

○和名 乎舞奈

女小妻

○もん子

○土佐

○乳母

万

○若子

○万少

○そのあつ

源 治

○源 治

○山里

源

○作金者

老女

○日 湯物

○作玉者

○木工

日

飛浮

○鍛治

○陶人

○日 俵

○縫

女

○日 舟

○船君

○土佐

○海子

○方 漁父

○網子

○方 網

○阿自呂人

○方 魚

○潜女

○和名 加豆

岐女

○玉主

○万 玉

女

日

○御殿守

○延喜

○御藏守

○延喜

○門守

延

○道守

○方 又

○守橋

○日 和

○多理母理

万





ノヤニホノコロモ ○方 紅衣し去布の又切をしそハ  
之八塩之衣 上にはいふくあきとを八塩のやそし ○挾織

ノオビ ○方 細紋の茅しむねの  
之帶 一筋もくも書べし ○蚊屋衣 ○日

今の蚊屋衣 ○サヨニ ○延喜 今云  
河出雨のり ○背布 今云 ○喪衣 ○方

ぬが衣とつども入らぬ衣ハ文の  
細さ細し寝給はかにもつと衣とあま ○女手末之調 ○日

女切のふ ○エトコロモ ○方 奈禮衣 ○方 忌衣 ○解  
出は酒し ○一重衣 ○奈禮衣 ○方 忌衣 ○解

洗濯 ○アサゴロモ ○方 洗濯物し ○天和 ○解衣 ○方 不ぞい

○沽衣 ○ヌレギス ○方 あぶらやけ人もりぬや ○左良須氏

豆久利 ○ヅクリ ○方 曝しとよゆりし ○延喜 今云 紵のきつて布  
の字を用う今云は布布をかきしつては酒を

○布可多衣乃美留乃其等 ○ヌノカタギヌノミルノゴト ○方 布肩衣は海松  
まじりやがれし

○古衣 ○フルゴロモ ○方 カキヌ ○方 竹取 火弟のかかぬとよ ○源  
少あまのかかぬ ○和名 古黒貂 出

東北 ○間亂 ○マヨヒ ○方 あまのあも肩のまじりしつてちり又衣  
夷 ○方 まじりしつてちり又衣

○麻蘇湍毛知 ○マソテンモチ ○方 ぬ油 ○麻被 ○アサズミ ○方  
○麻太良 ○マタラ

夫須麻 ユカタビラ ○方 ハシラ 衾 シ ○丞被 ムシブスミ 方 ア 衾 シ ○內衣 ユカタビラ ○和名

由加太比良 ユカタビラ ○湯巾 ユタナゴヒ ○延喜 タナゴヒ ○手巾 タナゴヒ ○延喜 タナゴヒ ○擯鼻禪 ヌフサギ ○日

○方 マ 衾 シ ○延喜 タナゴヒ ○絲二約 イトフタクリ ○延喜 タナゴヒ ○吾以在三相二 ワカモタルミツアヒニ

今ハふど イハ ○脚帶 アユビ ○日 ○方 イハ 今ハ イハ ○山 ヤマ 結まにあふ

様流系用而 ヨレル ○方 イハ 三相 ミツアヒ ○脚帶 アユビ ○日 ○方 イハ 今ハ イハ ○山 ヤマ 結まにあふ

○源 イハ 今ハ イハ 今ハ イハ ○源 イハ 今ハ イハ

食 メス 糞 クソ

○黒紀白紀 能 ノ 御酒 ミ ○祝詞 ○方 イハ 黒酒白酒の ク 醸 カウ

酒 カム ○古 コ 酒 サケ ○糟湯酒 カスユザケ ○方 イハ ○酒 サケ ○一 ヒト

杯 ツキ ○方 イハ 一つ ヒトツキ の ノ 酒 サケ を サ た タ ぐ グ 者 モノ を ヲ 酔 ヨ び ビ て テ ○催 メ 酒 サケ を サ ば バ け ケ ぬ ヌ ○催 メ 酒 サケ を サ ば バ け ケ ぬ ヌ

さ サ くら クラ び ビ に ニ け ケ る ル 者 モノ 多 タ し シ ○催 メ 酒 サケ を サ ば バ け ケ ぬ ヌ ○催 メ 酒 サケ を サ ば バ け ケ ぬ ヌ







しひるるの 源 びつしんいん スゴモ ○方 ○  
らびく入垣 延喜

含の時 ワラブタ 和名 和良 ヒメツチニワラトキニキ ○方 ○  
○圓座 直土草解敷 破 ヤレ

安 ゴモヲレキテ ○方 ○  
薦乎敷而 かすはらちをさみてけくふく川

かへ 源 ちまびいん のかるふく のつら をたむ し

ふはる しん はり う 志 して 源 九折坂 しま ろ あら が れ 小 柴

垣 と ま り ○ 山 い く か ち ふ ち る れ 源 ヒラカハラ ○ 平 寛

○日 ひ く も カ ハ ツ サ ○ 方 壁 草 十 ヨ シ ○ 船 か ら 物 書 ヒ ラ ギ

○土佐 船 の 尻 ふ く 今 昔 ○ 卷 テ シ ○ 卷 今 今 の 結 巻 し

○馬 ウ マ ヲ リ ○ 方 今 の ○ か ま が ひ ○ 催 家 の 志 を し あ が ま は

○図 ヒ ト ヤ ○ 日 ○ つ 不 ツ ツ ヤ ○ 和 名 津 屋 人 可 謂 律 書 取 貨

○邸 家 可 謂 律 書 取 貨

○邸 家 可 謂 律 書 取 貨

○邸 家 可 謂 律 書 取 貨

名注

○迦波良 カハラ ○日 ヒ ○於比曾箭 オヒツヤ ○方 オヒツヤ 負心矢しそやの  
及四さし矢をさそと云ハ

古流しさをるは ユ ス ○弓腹 コ ス ○古 コ 弓腹振立 ○方 コ 腹振起  
ろまし今弓杖のふは流り

○佐都由美 サツユ ○方 サツヤ 彌弓し ○流矢 イタマカシ ○口 ヒ 首 ヒ 首 ヒ 首 ヒ 首

○古 コ 小細今の コ 志流し コ のめめさ コ 催 コ 昔八日行を  
かそたのれは宗

目めさる古軍物 コ 小角 コ 方 コ 軍中 コ 驛 コ 驛 コ 驛 コ 驛 コ 驛

鈴 スズ ○日 ヒ 今道中 ヒ 符 ヒ 符 ヒ 符 ヒ 符 ヒ 符 ヒ 符

車 クルマ ○延喜 ニ 和名 ニ 比止 ニ 加馬 ニ 加馬 ニ 加馬 ニ 加馬 ニ 加馬

下珠 シマ ○口籠 コ 籠 コ 籠 コ 籠 コ 籠 コ 籠 コ 籠

○塙四口 ナベ 四口 ナベ 四口 ナベ 四口 ナベ 四口 ナベ 四口 ナベ 四口

二口 フタクチ ○延喜 ニ 杯五口 サカウキ 杯五口 サカウキ 杯五口 サカウキ 杯五口 サカウキ 杯五口

竈四具 カマヨソナ ○延喜 ニ 椀形三十口 モロカタ 椀形三十口 モロカタ 椀形三十口 モロカタ 椀形三十口

壺の形 カマヨソナ 壺の形 カマヨソナ 壺の形 カマヨソナ 壺の形 カマヨソナ 壺の形 カマヨソナ 壺の形 カマヨソナ

陶壺二口 スエツボ多季 ○延喜  
槽垂袋 サカヌレフクロ ○延喜  
花 ハナ

双六 スゴコク ○方 フシゴ ○和名 不養波 サレグシ  
指櫛 サレグシ

火打 ヒウチ ○古 打出火鑽 ヒウチ  
燧杵 ヒウチ ○古 火 ヒ ○左提 サテ ○  
須埋袋 スリブクロ ○方 火 ヒ

鳥網 トアミ ○方 網取 トアミ  
須我麻久良 スガマクラ ○方

黄楊枕 ツゲノミクラ ○方  
久流部 クニルベ

芳理夫久路 ハリブクロ ○方 計 カタメ ○方 惣 ツラ  
竹籠 カタメ ○方 惣 ツラ ○久流部 クニルベ

十寸板 ツギイタ ○方 板 イタ  
胡床 アグラ ○日 ○古 あぐら

竹取 タケトリ ○今 帳 フシダ ○拾遺 シユイ ○今 油笠 アヒカサ ○日 今 雨 アメ

鈴四柄 スズヨウヘ ○延喜  
艶 カシナヒトヒラ ○延喜

源竹 タケノコ ○延喜  
源 タケノコ ○延喜

源 タケノコ ○延喜  
葛 クワ

源 タケノコ ○延喜  
葛 クワ

靈ヒカダ ○日ヒ方カ延喜ノ和名久散 ○棺キ ○日ヒ和名比止岐 取ト 比手ヒト加太カカタ 兼人ト形ノ ○棺キ 以ヒ成ニ屍ト也ナリ 人ヒトノ

念ガに  
事コトは

意イ比ヒ部ブに用ヨウじニば

○孀屋ツミヤ ○方カ固カタ ○裳引モビキノスカス之ノ姿スガ ○方カ ○來キ

云似有クニニタリ ○方カ 今イマの河カハはハてテしキ 今イマの河カハはハてテしキ 今イマの河カハはハてテしキ ○片カタ

待マテ ○方カ 片カタ心ココロに ○立待タチマテ ○方カ ○眉根マユネ削キ鼻ハナ鳴ナリ ○方カ 是コトを

待マテ ○方カ 片カタ心ココロに ○立待タチマテ ○方カ ○眉根マユネ削キ鼻ハナ鳴ナリ ○方カ 是コトを

相見アイミ天者テンジャ ○方カ まさめい ○靈合タマアハバ者ハ 相宿アイヌルモノヲ物モノ乎ナリ ○方カ

心ココロまマ今イマをヲおオ寐ネはハ ○情具コトクリ久キウ ○方カ 心ココロのノ事コト ○朝アサ

吾身ワカミ者ハ成ナリ奴ヌ ○方カ 物モノ日ヒのノ形カタ ○死シ 枯カ 生ナ 葉エフキ 生ナ 葉エフキ

同心オウシン ○方カ 心ココロのノ事コト ○死シ 爲ニ 物モノ 亦モ 有アリ 者ナリ ○方カ 死シ

らだこ ○源 玉梓之使

のこまきし 源 玉梓之使

世はすももきりけりや 源 男女の情もあま

○新手枕 源 男女の情もあま

○佐用婆比 源 けさくく世にくけたがをさうじひ

○密通而 源 男女の情もあま

○遊行女婦 源 男女の情もあま

○好心 源 花のあにゆいふらち

○血の輕如來細腰 源 血の輕如來細腰

○万 源 万の部

○發 源 發の部

○發 源 發の部

まのちのさき  
○多知乃佐和伎  
○方とに  
○餞別  
ウミノハナムケ

○伊土佐  
○志保あしめまろし  
○土佐  
○真多妣

ニナナリヌ  
○方ま核し謀の  
○客之屋取  
○方ま

○伊倍加是  
○方まはちのまてら  
吹身ほほし家ほほ

○山由伎  
○方山由  
○江の氷を破る  
○馬行是

○浪上乎五行  
源

左具久養盤間乎射往廻  
○方 五十七行ハハ  
○方 五十七行ハハ

○土佐 和と  
○白妙乃

袖可別日乎近  
○方 ぶしの目も  
とくかをり

せほ部に用くごさしは

○矢形尾乃雁鳥  
○方 今うら  
○千鳥數鳴  
○方 志心

○田豆我音 マツガ子 ○方 ツル ○鳥我音 カモガ子 ○方 ヒ ○雁我音 カリガ子 ○

收ハハヒシ カリガ子ノコエ ○雁我音乃殿 カリガ子ノコエ ○方 ヒ ○加萬目 カマメ

○水鳥乎潜都都 ウカヅケツ ○方 ヒ ○鷓鴣伴篝伏 ウカヒトモナヒカリサ

之 ウカ ○方 ヒ ○鴛與高部 ウカ ○方 ヒ ○蘆鳧 アシカヒ

○蘆鶴 アシカヅ ○方 ヒ ○波渚杼里 ハミストリ ○方 ヒ

○朝鴉 アサガラス ○方 ヒ ○可良須等布於保乎曾禰 カラス ト フ オ ホ ナ ソ ド

里 リ ○カ カ ○放鳥 ハナチトリ ○方 ヒ ○小鈴母 コスズメ

由良尔安波勢也里 ユラニアハセマリ ○方 ヒ ○御 ミ

千雁鳥 チタカ ○大和今 オホニニイマ ○伯勞鳥之草具吉 セズノクサグキ ○方 ヒ

○雞 イノドリ ○方 ヒ ○野鳥雞 ノツドリキ

○野鳥雞 ノツドリキ

○方 是ハ野つづろ  
味村 ○方 味ハ飯を海辺にあげて  
よ水もろむ村ハ君もろむ

○鞍馬 ○布都馬 ○肥馬 ○柜栞越尔麥

昨駒 ○方 アヲコマノアガキ  
○方 白馬しあがとハアガキ  
アガキ

○馬曾爪突 ○牡馬一足牝馬足

○馬並而 ○方 騎射 ○延喜 八月 ○馬一

足 ○延喜 牛一頭 ○延喜 虎豹皮 ○日 牡牛 ○

信以之 ○左乎之加能牟奈和氣由可牟

○麻ハキハ 麩のこもれ

乃どみく山田此板もにどろ色

綿もの中ふまどアそくしらつくとく

○源 アカタヒ ○日 鯛のふまよ ○日 和名 鯛の字

○鮪釣鯉釣 ○方 和可由 ○方 少嶺 ○牟奈





○春日尔張流柳ハルヒニハレルヤナギ ○方カタ ○源ノ ○垂柳シダリヤナギ ○方カタ ○つる木ツルキ

のほろろふ乃くはさささかんくやのちしは

うらうらふ源 ○花のちやうにけりしは

うらふんそくふかきしは枝まろく押ゆ源

○つる木ツルキ ○催カミ ○可養都氣野カミツケノ 佐野サノ

野ノ 九九多知クニノ ○布流久佐仁比フナグサニヒ

久佐クサ ○方カタ 新ニ ○知左乾花チサノハナ ○方カタ 葛カ 蓑サ ○穗ホ 蓼ル

○濱菜採ハナナトリ ○方カタ 海ウミ 邊ノ のノ 光ヒ 乃ノ ○昆布ヒロメ ○和名ワナ 比ヒ 頭カ 木キ 毛モ

○紫菜ムラサキ ○和名ワナ 無ム 良ラ 佐サ 木キ ○鹿尾菜ヒツキ ○和名ワナ 比ヒ 頭カ 木キ 毛モ

○水苔カハナ ○和名ワナ 加波カ 名ナ ○多麻毛タマモ ○方カタ 玉タマ 糸イト 糸イト のノ 毛モ

玉タマ のノ 毛モ 糸イト 糸イト 生ナ ○木實コノミ ○古コ ○毛ケ 柶モ ○方カタ ○熟瓜ホソク ○古コ

○山菅ヤマスダ ○延喜ノ 和名ワナ 麥門マクド ○山田之ヤマダノ

澤爾惠具採

○方 及びの亥ハ海防の  
小多物に似たり

○天門冬

スミロササ  
和名

須未呂

○獨活

○延喜和名  
豆知多良

○山芋

和名  
以毛

○夜萬都  
山芋

○野豆

和名野良末  
女 競豆

○小豆

和名阿加  
安豆木

○午芒勞

和名  
キタギス

岐太岐須一名  
宇末不岐

○菘荷

和名米加  
めうがし

○落

和名布々木  
正字款冬

○秋田之穂立

○方

○田草引

○方 四葉  
取し

○早田

○方

○秋之葉左夜藝

○方 七つがふし  
萩葉枝

○枯し海

花も中にあさぎののしる色ふまひやう

源  
もぢるめいしるまおのい

はしゆしるまゆがをうしるんぬる

源

○蘿席

○方 若のまじ  
席のまじ

○竹旗薄

○方 鹿がらま海  
席の西ま 芒

○まもしくるめいしるいとおれしる

ちして  
源  
をぢるかたうし  
○いめか源  
心ま 芒花  
○意

政カニ ○和名 豆カニ ○北カニ 蘭カニ ○和名 加加養カニ ○律草カニ ○和名 毛久良カニ  
之太萬カニ 蘿摩子カニ ○古カニ

○北カニ 繁葉カニ ○和名 ハ久倍カニ ○源 伊カニ  
良もこべしカニ ○源 伊カニ もまやうカニ

佐佐村竹カニ ○方 伊ハ後流カニ ○冬カニ 葱カニ ○和名 布由木カニ  
小竹の竹カニ ○冬カニ 葱カニ 今もまやうカニ

○枝カニ 海草の下カニ ○源 伊カニ 結カニ 枝カニ 母等乎乎尔カニ

のこんまカニ ちひ出カニ ○源 伊カニ 結カニ 枝カニ 母等乎乎尔カニ

結カニ 枝カニ 母等乎乎尔カニ ○源 伊カニ 樹村カニ ○方 深カニ ○木カニ

垂カニ ○方 木の枝カニ ○下枝カニ ○方 枝母等乎乎尔カニ

枝カニ 母等乎乎尔カニ ○日カニ 時カニ 香具草カニ ○水カニ

枝カニ 母等乎乎尔カニ ○日カニ 時カニ 香具草カニ ○水カニ

○方 枝カニ 母等乎乎尔カニ ○日カニ 時カニ 香具草カニ ○水カニ

○方 枝カニ 母等乎乎尔カニ ○日カニ 時カニ 香具草カニ ○水カニ

○方 枝カニ 母等乎乎尔カニ ○日カニ 時カニ 香具草カニ ○水カニ

○方 枝カニ 母等乎乎尔カニ ○日カニ 時カニ 香具草カニ ○水カニ

○方 枝カニ 母等乎乎尔カニ ○日カニ 時カニ 香具草カニ ○水カニ

○方 枝カニ 母等乎乎尔カニ ○日カニ 時カニ 香具草カニ ○水カニ



もいとおろし 源 ○鬼り狐り 源

○皆人乎宿與敗金者打禮杼 源

○乃みの日波げ 源 ○伊 源

日計 源 ○七日計 源 ○月其呂 源

○家布家布等 源 ○晝波之賣良尔 源

夜波須我良尔 源 ○日異 源 ○八 源

百日 源 ○比登欲毛於知受 源 ○星 源

離去月牟離而 源 ○月日おなく 源

ア 源 ○は月 源

○來朝 源 ○日入 源

國尔所遣 源 ○都追牟許等 源

奈久波也可弊里麻勢 源







久母クモ 万マン 留リウ 可蘇氣伎カソキキ 方ホウ 幽ユウ 無味ムミ 方ホウ

永世之語ナガキヨノカタリニシツ 尔為ニシツ 作シ 端キラ

麗リ 日ニチ 源ゲン 日ニチ 軌キ

制セイ 日ニチ 長チヤウ 役ヤク 日ニチ 多タ 日ニチ 消シユウ

息キツ 日ニチ 進シン 止シ 日ニチ 分ブン 明メイ 日ニチ 清セイ

清之セイノ 日ニチ 字ジ 樂ラク 古コ 宴エン 日ニチ 放ホウ 惠ヱ

良惠良ラヱラ 方ホウ たのタノ 動ドウ 方ホウ 源ゲン 佐サ

夫之フノ 方ホウ 裳得那也モトナヤ 方ホウ 忌忌イイイ 方ホウ

多頭多頭之タヅタヅノ 方ホウ 伊イ

法ホウ 知チ 方ホウ 伊イ

伊イ 伊イ 伊イ

伊イ 伊イ 伊イ

後多のしほく遠くもや海は晴れまのたけに  
伊刀毛  
んや心ぞしほくもや海は晴れまのたけに  
伊刀毛

スベナミ  
方 せんくさくさく  
阿夜爾

加奈之  
方 あやハ級のまゝまゝ後まの  
蘇屋毛志

保保爾奈伎思  
ホ、ニナキシ  
方 袖もあふ  
血泣  
日古 強

○哭恚  
ナキフツ  
日 後  
方 づつとくさりぬ  
大和 刀城  
投擲す

○子海ちちち山かふまがまふにまじり

終ひーびりー記清あふれ  
源 湯人のうら  
御

喪  
日 どのくはゆえに  
○すー山かふる山  
源

とみうにきぶら  
源 湯春

の敷にきーうら  
源 〇くく 桑のうもまはして

んけりまふ  
源 鞠を  
〇りふかけた下えび

〇うさくの終り  
源 〇所植  
日 たて守りの  
オ。ま。ま。べー

前ニメニ所植湯津ツツ抄シウ ○鋒心トゴロ ○方カ 扇アヒ ○方カ 雄心ヲコロ ○方カ 木之抄キノシウ ○方カ 雄心ヲコロ ○方カ

○既シ 具都キツ ○方カ 既具都シキツ ○方カ 既具都シキツ ○方カ 既具都シキツ

遠奴伎都流其等久布养奴伎提ウチ ○方カ 浮出ウチ ○方カ 浮出ウチ ○方カ 浮出ウチ

宇利波采婆胡藤母意ウリハメバコドモオ ○方カ 宇利波采婆胡藤母意ウリハメバコドモオ ○方カ 宇利波采婆胡藤母意ウリハメバコドモオ

母保由久利波采婆麻斯堤斯農波由モホユクリハマバマシテシノバユ ○方カ 母保由久利波采婆麻斯堤斯農波由モホユクリハマバマシテシノバユ ○方カ 母保由久利波采婆麻斯堤斯農波由モホユクリハマバマシテシノバユ

乞能牟コヒノム ○方カ 乞能牟コヒノム ○方カ 乞能牟コヒノム ○方カ 乞能牟コヒノム

久毛爾得夫久須利波武等母クモニトブクスリハムトモ ○方カ 久毛爾得夫久須利波武等母クモニトブクスリハムトモ ○方カ 久毛爾得夫久須利波武等母クモニトブクスリハムトモ

源ヒナ ○方カ 源ヒナ ○方カ 源ヒナ ○方カ 源ヒナ ○方カ 源ヒナ ○方カ

吾無二ウレナレニ ○方カ 吾無二ウレナレニ ○方カ 吾無二ウレナレニ ○方カ 吾無二ウレナレニ ○方カ 吾無二ウレナレニ

不持モクズ ○方カ 不持モクズ ○方カ 不持モクズ ○方カ 不持モクズ ○方カ 不持モクズ ○方カ

鹿煮藻闕二毛カニモカクニモ ○方カ 鹿煮藻闕二毛カニモカクニモ ○方カ 鹿煮藻闕二毛カニモカクニモ ○方カ 鹿煮藻闕二毛カニモカクニモ ○方カ 鹿煮藻闕二毛カニモカクニモ

九毛右毛セカクモ ○方カ 九毛右毛セカクモ ○方カ 九毛右毛セカクモ ○方カ 九毛右毛セカクモ ○方カ 九毛右毛セカクモ ○方カ

打細ウツメ ○方カ 打細ウツメ ○方カ 打細ウツメ ○方カ 打細ウツメ ○方カ 打細ウツメ ○方カ 打細ウツメ ○方カ

爾ニ 〇方ニおほニ 〇之可須我爾シカスガニ 〇方ニましニ 〇加久之伎カクノキ

許散波コサバ 〇方ニかくのちニ 〇かうやうニ 〇土佐ニ

〇源ニ 〇源ニ 〇源ニ 〇源ニ 〇源ニ

〇源ニ 〇源ニ 〇源ニ 〇源ニ 〇源ニ

〇與曾理無ヨソリナク 〇方ニ 〇誰之人歟タリノヒトカモ 〇方ニ 〇面知オモレル

〇方ニ 〇武家タケノカ 〇才ニ 〇才ニ 〇才ニ

〇爵錄カヅケモノ 〇日ニ 〇信物ツニツモノ 〇日ニ 〇白シロ

銀八斤八兩カネヤハカリヤコ 〇日ニ 〇日ニ 〇日ニ 〇日ニ

〇郷食アール 〇日ニ 〇日ニ 〇日ニ 〇日ニ

〇醉哭エヒナキ 〇方ニ 〇多具理タグリ 〇古ニ 〇古ニ

〇踏登村呂許志フミトビロコシ 〇方ニ 〇方ニ 〇比許豆良ヒコシラ

〇横言ヨコゴト 〇方ニ 〇讒ヨコス 〇方ニ 〇方ニ

而ナリ妖オヨシレト偽ゴト日ヒ流ル誑ウタ哥カ日ヒ謠ウタ哥カ日ヒ謠ウタ哥カ

とかきこえあけりたてのりまが  
しるふ古今

○毛由良モユラ日ヒ方カタふるふはふふ  
遠音トホト方カタま

○阿蘇波勢アソバセ古コ鳥トリ遊ユし  
最靈クニキ日ヒ船フネ

魂ミタマとまけりハ沐シまきし  
灼然イナシ方カタふめし日ヒ蚊カ蠅バ欲ヨ

布フ方カタ○舉ヒヲヒイテ燭ロウ日ヒ火ヒまが  
君之往若久爾キミガエキモシヒサナ

有ラ波ハ女メ方カタ一ヒトがカ極クマりし  
弊奈里底ヘナリテ方カタ極クマ

○背上爾所見ソガヒニミユル方カタ海ウミに  
多加多加タカダカ方カタ下シ

秀テズ方カタ秀ヒゲ方カタ秀ヒゲ  
秀ヒゲ方カタ秀ヒゲ

せくる大和一ヒトがカ極クマりし  
○山の様をし紙ヒるシ方カタ極クマ

海邊ウミノヘ乎ナ指サ而シ方カタましてはんばしてし何ナニくシ

○奈何可來計牟馬渡爾

ナニ、カキケンウミツカラレニ  
○万せんもなく  
もつりしと云

○物にゆきさく

○伊物ハ形をさくこと云  
今し物ぞと云細し  
○後

つみをくらて

○主佐  
○是彼たがひて  
○主佐  
○コ

ごきとをく

○主佐  
○深るもしと云と云けて  
土

○了げのくハ

○土佐 天氣  
○夜之總杼呂  
○万

○咫尺

アヌサカ  
○日  
○前年之先年從今年  
○万  
○欲

床もろく

○伊 又婦の中あり  
○失意  
古古

品萬止  
比○伊三モ

○伊 け何物汝におかす  
河るゆぐ大卒の時も  
○和名

つらもいふいとく原

○伊 あつ  
○伊 祢都

氣波女

○万 繼  
○山都刀  
○布須左爾  
○万

おほきさくをのみ

○安多良安多良  
○万

○麻氣乃麻爾麻爾

○万 何せ  
○麻比波  
○万

麻比マヒ賢良サカシラ ○方カかゝるカ ○女のメノこゝろココロはハるル

○伊イ 奥ウラひヒさサはハさサ入イ ○持テまマのノ狐キツネ子コ尋ミ

○伊イ 後ノチにニまマくク行ユク ○伊イ 立タテ而ニ藻モ

井イテテモモ ○方カ今イマ ○後ノチはハくクくクとトつツるル水ミヅをヲ

○可カ志シ良ラ可カ伎キ奈ナ豆マメ ○方カ 既スデにニ ○小コをヲ

かいカイとト申マウ ○許コ之ノ伎キ爾ニ波ハ久ク毛モ

能ノ須ス可カ伎キ ○方カ 意ココロはハくクくクとト思オモふフ ○延ノビ喜ユキ ○櫓ユのノ字ジをヲ用ヨウふフ ○寛カン

坐カム ○日ヒ 今イマはハわワがガくクくクしシ ○宇ウ知チ須ス須ス呂ロ比ヒ豆マメ ○方カ 今イマはハわワがガくクくクしシ

御メ食シ而ニ肥ヒ坐マ ○方カ 御ミのノ字ジをヲ用ヨウふフ ○雖シ喫ク弥ミ瘦シ亦モ瘦シ

須ス ○方カ 有ア賤セ者ノ一ヒト曰イハ鼻ハナ垂タリ ○日ヒ 今イマはハわワがガくクくクしシ ○小コ

名ナ ○續ツグ ○采サイ具グ之シ ○方カ 日ヒ 懐イダシ ○宇ウ禮レ多タ伎キ ○方カ 伊イ

痛イタ ○百ヒャク可カ波ハ理リ ○方カ 源ヒナ ○仁ニ古コ欲ヨク可カ ○味アジ

宿イ○方熟 ○月のおくけしし物に就まふし

格カウシフター子二間ばるをわけく屋うぐりし源

○しつゝを猫のかしづきししきし

源源 ○ちことりみ虫のよみふに朱く古

ゆゝふかびくゝるゝ源 及古のりヒトサケ ○一丈

一尺一寸ヒトサカヒキ ○日 一分のりイハ ○屯聚イハ ○日 屯聚比イハ

ひろナウトリツク ○繩取付クシガシ ○日 楸シ ○之多メ

弊乃使ベ ○方 冥途アドモ ○方 安祥毛布アトモ ○方 侍るシ ○家ケ

思吉シキ ○方 異敷しイニ ○伊イ 異イ にもニ ○耳言サ ○方 于オ

曾ソ 能ノ 風流士タハシ ○方 於曾オ 比師跡鳴ヒシト ○方 鳴ナ

源源 ○源 奥香無オ ○方 八尺之嗟ヤサカ

息豆伎阿加志イキツキアカシ ○方 八尺之嗟ヤサカ



きさ款  
○いとおき後しこまひけくくや  
をりみ

くしむむと思ふもこしめ多る水ど  
源

○ぶゆくこつ折らるるおき後しこく

路もろり尺かろくはもも松うみとおが

尺 ○源 チカラクス ○日 タブテ ○方 ヒガフリ ○膝折伏

○多香祢流 タガナル ○方 タガナル ○商自 アキジ

古里 コリ ○方 コリ ○袖爾古伎禮都 ソデニギレツ ○方 カキ ○小

つふーい ツフーイ ○源 源 ○土佐 土佐 ○道 道 ○差 差

さぬ さぬ ○是 是 ○是 是 ○是 是 ○是 是

○差 差 ○左夜左夜 左夜左夜 ○方 方 ○雨謹 雨謹 ○方 方

おき おき ○笠無 笠無 ○方 方 ○袖 袖

乎笠爾著 乎笠爾著 ○方 方 ○源 源 ○沾通 沾通 ○保 保

カサニキ

カサニキ





ほまもぢぢタムケノカミ ○道祖神 和名太無介 乃加養 ○まをひ

ア〜額にあへ 源 あび ヲロカミテ ○鳥呂餓弥豆 ○月

い〜しあひ 和名 養和 クヲオガミ ○闇 雷龍 ○月 水汁

しあひハ計 ウケヒ ○折言約 ○万 日 ○伊 物まひし得 カ 飼飯 宇計比る カ

お〜 ○伊 汁ましちあひ か〜りハ計又し

跋

今ハ昔父の命 コト 号 号 神羽 羽 吾大人 ウケヒ にはまはく

世に初をのづ〜月香をたはし〜びのハ

おほりしど〜て〜初を樂び共ハい

ま〜か〜是とあふふ テダテ 方便く

ハ〜〜と大人今け ツミ 名を由 給 酒を

新編  
言

四十七

又家小つとくく象父の世とありせし  
里ひ出れとて志のびにききむと  
あはれにふの  
みこばもみこも

秩又山たらぬは久に

明和二乙酉年十二月



